

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

# 「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



平成 30 年 5 月 30 日  
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

## 赤鬼・青鬼が田植え後の棚田の里に出現！ 無病息災をかなえる奇習、鬼の日「獅子回し」

■日時 **6月3日(日)午後2時30分出発** ※少雨決行

■場所 うきは市浮羽町妹川(いもがわ)  
榎ヶ平区(かしがひら)天満宮及び周辺

■内容 毎年6月のはじめに行われる“さなぼり”行事。

“さなぼり”とは、田植え後に地域で集まって疲れをいやすとともに無病息災を願う行事。榎ヶ平天満宮で神事後、鬼が各家(全46戸)へ向かう。赤鬼、青鬼が竹を打ち鳴らし、民家に上がり込み、獅子を招き入れ、無病息災をかなえるという流れ。鬼は「道開け」、獅子は「無病息災をかなえる」役割を果たす。その竹に当たると縁起がよいと言われ、後に続く獅子が幸をつれてくるといふ風習がある。明治時代ごろから続いていると言われる。

●問合せ 榎ヶ平区 区長 堀江繁美さん Tel.0943-77-3106



鬼が獅子を引き連れ、竹を打ち鳴らし集落内の全戸をまわる



榎ヶ平区は市中心部から県道52号線を調音の滝公園に向かう(調音の公園手前1キロ付近)



鬼を怖がり泣く子ども



獅子を招き入れ、無病息災をかなえる



集落内を闊歩する赤鬼・青鬼

編集:うきは市総務課広報係(Tel.0943-75-4980)

※FAXを手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 **うきはブランド通信**

2018.5.30 発表/赤鬼・青鬼が山里に出現…無病息災をかなえる奇習、鬼の日「獅子回し」